

2013.10

大規模集合住宅居住者の コミュニティ意識

本研究では、集合住宅における「近所づきあい」「コミュニティ活動」「共用施設」に着目し、戸数規模での比較により、大規模集合住宅居住者のコミュニティ意識を明らかにした。また、周囲の人との関わりが強いと思われる子育て女性の意識と実態から、コミュニティ活動や共用施設へのニーズを探った。

■大規模集合住宅居住者は、近所づきあい人数が多い。

- ・ 近所づきあい人数はライフステージの影響が大きく、大規模集合住宅の中でも特に子育て女性は、近所づきあい人数が多い。近所づきあい人数の多い人は、「住民同士の雰囲気が良い」と感じている。

■コミュニティ活動の中では、「お祭り・イベント活動」が人気。

- ・ 大規模集合住宅は中小規模集合住宅に比べ、コミュニティ活動・組織のある割合が高く、大規模集合住宅の居住者は、コミュニティ活動の中で「お祭り・イベント活動」への参加意向が最も高い。

■大規模集合住宅居住者は、共用施設に対するニーズが強い。

- ・ 大規模集合住宅居住者のうち子育て女性は、「キッズルーム」に対するニーズが高く、長子未就学児の子育て女性の約8割が「キッズルーム」を親子で利用している。

■「住民同士の雰囲気の良い」「コミュニティの活発さ」は「集合住宅のコミュニティ満足度」にプラスの影響を与えている。

- ・ 「近所づきあい」や「コミュニティ活動」など、人の交流が盛んに行われると、「住民同士の雰囲気の良い」「コミュニティの活発さ」といった、「コミュニティ意識」にプラスに作用し、それらが、「集合住宅のコミュニティ満足度」に良い影響を与えている。

調査概要

■定量調査①

調査時期：2012年8月中旬
調査方法：インターネット調査
調査対象：一都三県在住 20～60代男女
回答者数：1,731名 ※詳細は最終ページ参照

■定量調査②

調査時期：2013年2月中旬
調査方法：インターネット調査
調査対象：一都三県在住 20～60代男女
回答者数：1,590名 ※詳細は最終ページ参照

■定性調査

調査時期：2012年11月中旬
調査方法：デプスインタビュー調査
調査対象：一都三県在住 20～40代女性
回答者数：13名 ※詳細は最終ページ参照